

第 2 2 回 大分県チャレンジ・ザ・バンク

〈テクニカルガイド〉



*OITA CYCLING
FEDERATION*

1	会 場
---	-----

(1)トラック競技会場
別府競輪場

第22回 〒874-0021 大分県別府市亀川東町 1-36 TEL : 0977-66-0796



2 日程

令和7年8月11日（月祝） 8:00 ～ 15:00

3 受 付

(1) 選手

(2) 配布物
・大会プログラム

4 開会式・閉会式

開会式:行いません 表彰式・閉会式:14:30

5 表彰式

(1) 表彰を受ける選手は 5 分前には集合・待機し、係の誘導を聞くこと。
1～3 位まで表彰とする。
欠席した場合、その着位は「空位」として取り扱い、セレモニーを行う。

6 大会参加案内

(1) 駐車場について

第5駐車場及び第10駐車場を利用すること。

選手管理（検車場）側への駐車は、予め指定を受けた役員車両以外は厳禁とする。

別府競輪場第10駐車場 経路 ➡



(2) 別府競輪場の施設・敷地内利用について

- ・AM 6 時以前の競輪場への入場はできません。
- ・大会期間中は、場外発売が行われているため、立入禁止区域には、絶対に入らないこと。
※ホームストレッチ側の特別観覧席の利用は出来ません。（競輪の場外発売専用）
- ・競輪場内のコンセントの使用は厳禁とする。
- ・場内に設置されているゴミ箱は使用しないこと。ゴミ等は各自各校にて持ち帰ること。
- ・屋外ローラー場の使用は認めるが管理棟 1F にあるローラー場の利用は厳禁とする。
- ・フィールド内でのローラーの使用は競技運営の支障をきたすおそれがあるため不可とする。
- ・喫煙は管理棟前・敢闘門付近(灰皿設置)のみとする。
- ・ビデオ及び写真については、観客席からのみ撮影可とする。

(3) 待機場所・自転車の保管について

待機場所・自転車の保管については、敢闘門～屋外ローラー場廻りを皆で共有すること。

尚 紛失、破損、事故等の責任は負わない。

備え付けの備品（扇風機・スポットクーラー）等には一切手を触れないこと。

ゴミ等も必ず持ち帰ること。

(4) 指定練習について

9:00～9:25 トラックレーサー

9:30～9:55 （ロードレーサー、中学生、初心者）

①チーム関係者・引率責任者が選手の安全管理に責任をもって行うこと。

②入退場については、バック側に限定する。役員の指示に従って移動し、
走路に入る際はアップシューズとする。

指定練習以外の早朝の練習走行はできません。

(5) 接触・落車等による機材の破損については、レース中の事故と同じ扱いとし、

主催者は賠償等の責任は負わない。

7 大会特別規則 <共通事項>

1. 大会名 第22回 大分県チャレンジ・ザ・バンク

JCF競技規則2025年版、実施要項、および本大会特別規則により実施する。

第22回 本大会の特別規則は「大分県チャレンジ・ザ・バンク」

のための特別規則であり、他の競技大会に適用されたり、先例となるものではない。

2. 競技日程

令和7年8月11日（日祝） 8:00 ～ 15:00

3. 大会本部

別府競輪場メインスタンド1F下審判室

4. コミッセール・パネル

競技運営委員長	高橋 文仁	大分県自転車競技連盟 理事
審判長	明珍 多久雄	大分県自転車競技連盟 理事

5. 使用機材

①ヘルメット

JCF公認ヘルメット、もしくは JKA認定品（競輪用）とする。

エアロヘルメットはTT系種目のみ使用可能（競走系種目、練習では使用不可）

破損、ひび割れ、公認シールのないものは使用できない。

競走系種目で使用するヘルメットはNOキャップが装着できるヘルメットとする。

②自転車

検車は実施しないが各自で安全に整備すること。

明らかに違反あるもの、整備不良と判断した場合は審判の指示に従い是正すること。

6. 救急措置（医療救護体制）

競技中の負傷疾病について、現場における応急措置を用意するが、

以後の措置については参加者自身の責任によって行うこと。

大会本部に医務・救護所を設置する。参加者は健康保険証を必ず持参すること。

参加者は各自でスポーツ安全協会等の保険に加入すること。

【近隣医療機関】

別府医療センター

〒874-0011

大分県別府市内竈1473番地

TEL：0977-67-1111(代表)

7. 招集

敢闘門付近に設ける。各競技者の出走予定時刻15分前までとする。

8. 大会アナウンス（コミュニケの配布・配信）

大会進行は、アナウンスにより行う。

また、コミュニケ等の配信については、紙媒体での配布は行わず、連盟「X」にておこなう。

敢闘門付近へ速報のリザルト貼り出しを実施する。



9. 個人情報の取り扱い

選手、応援者及び競技役員等の大会参加者の個人情報（画像、映像、音声データ等）については、本大会に帰属するとともに、大会の普及活動に利用する以外の目的に利用することはない。

8 大会特別規則

1. 全般

競技規則第90条～第101条を熟読し遵守すること。

2. 400mタイムトライアル

400mのトラック1周で行う。

タイムは手動計時とする。

スタートはホーム/バック側中央線から単独でスタートする。

スタートにはスターティング・マシンを使用する。（ロードバイク除く）

スターティング・マシンに自転車をセット、準備完了後20秒カウントダウンにてスタートする。

チームスタッフ・引率者は、自転車のセット等、スタート準備のサポートを行い、速やかなスタートに協力すること。

フライングがあった選手のみ次の組で再スタートする。

2回目は失格とする。

※詳細は、競技規則 第96条タイムトライアルに準じた特別規則による。

3. スプリント

予選200mフライング・タイムトライアルは手動計時とする。

予選200mフライング・タイムトライアルは2周800mを走行するうちの最後の200mを計測する。

スタートはブルーバンドより、前競技者が1周回通過後に次走選手がスタートする。

予選上位4名による3・4位決定戦/決勝戦とする。

各対戦は1回戦のみにて勝者を決める。

※詳細は、競技規則 第92条、第93条による。

4. ケイリン

予選→決勝戦

400mのトラック4周回で実施する。

スタートにおいて競技者はペーサーの直後で抽選によって決定された位置を取り、

スタート後少なくとも最初の周はペーサーの後ろにつかなければならない。

競技者たちはペーサーがトラックを離れる時まで、ペーサーの直後についていなければならない。

ペーサーはスプリンター・ラインの内側を走り、スタート時は 30 km/h、

フィニッシュ2.0周前のバック側中央線を過ぎてトラックを離れるまでに、

徐々に50 km/h まで加速する。ペーサーは残り600m付近で離脱する。

一人または、複数の競技者が、ペーサーが中央線においてトラックを離れる前にペーサーの前輪前端を追い抜いた場合、競技を停止し失格とされる違反競技者を除外して再スタートとする。

競走中に全競技者が落車等事故の際は救済措置により再スタートとする。

スタート後半周以内の事故が発生したとき、再スタートとするが、

半周以降の事故は再レースとはならない。事故の内容により制裁の対象となる。

競技はスプリント規則に準じて行う。これについては厳しい態度と裁定で対応する。

ホルダーについては、同チームの監督・チームスタッフにて（不足する際は競技役員）行う。

※詳細は、競技規則 第98条による。

5. スクラッチ

決勝：6km(15周回) トラック・ロード各実施

周回遅れでメイン集団に追付かれた競技者は除外とする。

先頭の競技者を基準とし、周回数が同一のとき最後のスプリント着順で順位を決定する。

ニュートラリゼーションは3周回（1,300m近い距離）、最後の1kmは競技に戻ることは出来ない。

最後の1kmで競技に戻れないときは、所属していた集団の最後尾にフィニッシュたと認定する。

スタート位置は、スプリンタレーンにヘルメットキャップ奇数番号、

走路外側にヘルメットキャップ偶数番号とする。

1番キャップ以外は先着順とし、ホルダーはチームにて（不足する際は競技役員）行う。

番号付きヘルメット・カバーを使用する。

※詳細は、競技規則 第101条による。

6. ポイントレース

決勝：10km(25周回)

周回遅れでメイン集団に追付かれた競技者は除外とする。

ニュートラリゼーションは3周回（1,300m近い距離）、最後の1kmは競技に戻ることは出来ない。

最後の1kmで競技に戻れないときは、所属していた集団の最後尾にフィニッシュたと認定する。

スタート位置は、スプリンタレーンにヘルメットキャップ奇数番号、

走路外側にヘルメットキャップ偶数番号とする。

1番キャップ以外は先着順とし、ホルダーはチームにて（不足する際は競技役員）行う。

番号付きヘルメット・カバーを使用する。

※詳細は、競技規則 第97条による。

7. 2 kmタイムトライアル

400mのトラック5周で行う。

スタートはホーム/バック側の中央線から単独発送とする。

スタートにはスターティング・マシンを使用する。(ロードバイク除く)

チームスタッフ・引率者は、自転車のセット等、スタート準備のサポートを行い、速やかなスタートに協力すること。

フライングがあった選手は次の組で再発送とする。

2回目は失格とする。

※詳細は、競技規則 第94条による。

8. チームスプリント

スタートはホーム/バックの中央線から単独発送とする。

スタートにはイン側の選手はスターティング・マシンを使用する。(ロードバイク除く)

チームスタッフ・引率者は、自転車のセット等、スタート準備のサポートを行い、速やかなスタートに協力すること。

※詳細は、競技規則 第99条による。

9 スケジュール

AM	8 : 0 0	受 付
AM	9 : 0 0	トラックレーサー 練習走行
AM	9 : 3 0	ロード・ジュニア・初心者 練習走行
AM	1 0 : 0 0	スプリント予選
AM	1 0 : 3 0	ケイリン予選
AM	1 0 : 5 0	400mタイムトライアル 決勝
AM	1 1 : 4 0	スクラッチ 6 k m 決勝
	休 憩	昼 休 み
PM	1 2 : 4 0	ポイントレース 1 0 k m 決勝
PM	1 3 : 0 0	スプリント 3・4 位決定戦/決勝戦
PM	1 3 : 2 0	2 k mタイムトライアル 決勝
PM	1 3 : 5 0	ケイリン 決勝
PM	1 4 : 0 0	チームスプリント 決勝
PM	1 4 : 3 0	表彰式